

TMKミライデザインプロジェクト

(玉城町下外城田明るい未来推進PJ)

メンバー数：6名 活動場所：玉城町
実施主体：玉城町総務政策課
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：H30

- ・みえまちキャンパス参加
TMKミライデザインPJ報告会WS
- ・岩出地区 見える化WS、
まちあるきWS
- ・宮古地区 見える化WS、
まちあるきWS
- ・岩出地区 見える化WS、
まちあるきWS
- ・岩出地区 地域模型作成WS
- ・宮古地区 地域模型作成WS
- ・コーホート変化率勉強会
- ・コーホート変化率勉強会
- ・PJキックオフイベント

2018 6 7 8 10 11 12 2

◇今年度の活動を振り返って(成果と課題)

TMKミライデザインPJのこれまでの主な活動としては、将来の人口を推計するコーホート変化率の勉強会から始まり、夏には、岩出地区と宮古地区の2つのモデル地区を対象として、小学生を中心に地形模型作成のワークショップを行った。後に地形模型を利用して、子どもたちの思い出の場所に旗を立てた。次のワークショップとして旗を立てたところを中心にまちあるきを行った。また鳥羽商船工業専門学校が開発したアプリを住民の皆様にご体験いただき、地域の課題を発見する見える化ワークショップを行った。

成果としては、住民の皆様にとって、知っているようで知らなかった自分の地域の魅力や課題を再発見するという機会になった。幅広い年代層の住民の皆様に関わっていただいたので、子どもの視点、お年寄りの視点と様々な年代の人々の視点で地域を視るということには大きな意味があったと思う。まちあるきは特に学生主体で企画や運営を行ったので、企画力を身につけることができた。

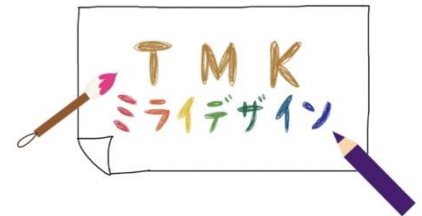
活動を通して感じたことは、自分の居住地域を好きにさせるということは難しいけれど、まずは地域のよいところ、自慢できるところ、少し変わったところを子どもたちからより上手に引き出すにはどのようにすべきかが課題であるということだ。今後は新たなモデル地区で、これまでの活動をどのように活かして、より良いプロジェクトにしていけるのかということも課題であると思う。

◇特にアピールしたいポイント

- ・地域模型は重要な郷土資料になったということ
- ・様々な年代の人々の意見を取り入れた活動であること

◇実施主体様からの声

町としても力を入れ、施策推進の参考にしたい(辻村町長)



(オリジナルロゴマーク)



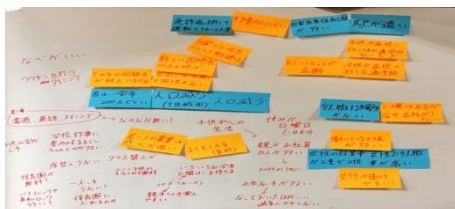
(地域模型作成)



(まちあるきWS)



(アプリ体験)



←(見える化WS)